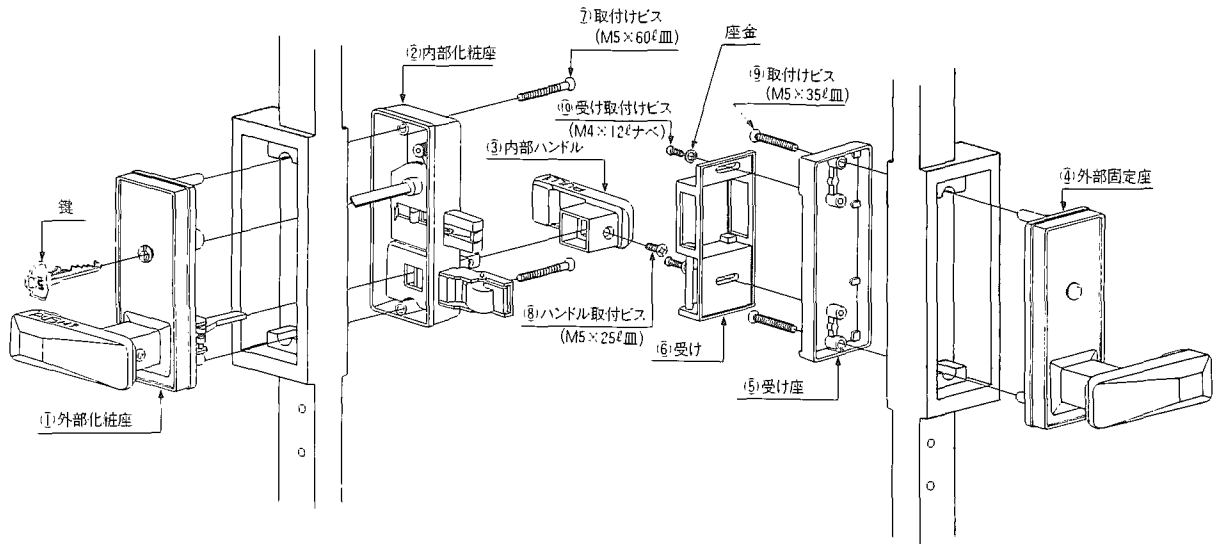


施工順序

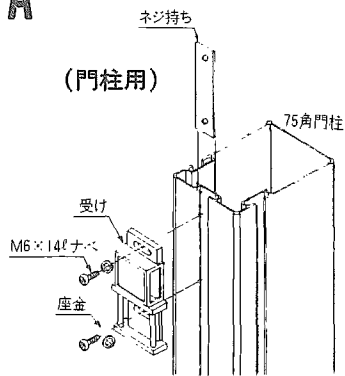
1 両開き



- 内部ハンドル③を、はずしてください。取付ビス⑧(M5×25ℓ皿)
- 外部化粧座①と内部化粧座②を門扉の両面にはさみ取付ビス⑦(M5×60ℓ皿)で取付けてから、内部側ハンドルを差し込みハンドル取付ビス⑧(M5×25ℓ皿)で締め付けてください。
- 外部化粧座④と受け座⑤を門扉の両面にはさみ取付ビス⑨(M4×35ℓ皿)で固定し、受け⑥をはめ込んで受け取付ビス⑩(M4×12ℓナベ)で取り付けてください。
- ※ 受けの長孔を利用して錠の掛り具合を調整してください。

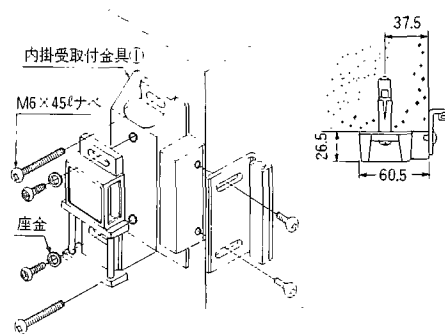
部分説明

A 片開き内掛受



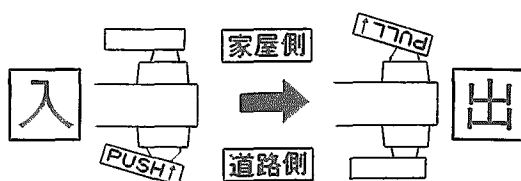
- 受けとネジ持ちを、取付ビス(M6×14ℓナベ)で仮止めし、ネジ持ちを門柱の溝へスライドし、錠の位置に合わせてビスを締め付けてください。
- ※ 受けの長孔を利用して錠の掛り具合を調整してください。

(直付用)



- 錠の位置に合わせて、受け取付金具①をプラグボルトで扉に取付けてください。プラグボルト用孔径はφ11です。
- ※ 戸当たりと、受け取付金具①とプラグボルトは、直付ピンジセットに梱包してあります。
- ※ ネジ持ちは、直付納まりには不用となります。
- ※ プラグの取付方法はD型錠の部分説明B(114頁)を参照してください。

B ハンドル操作説明

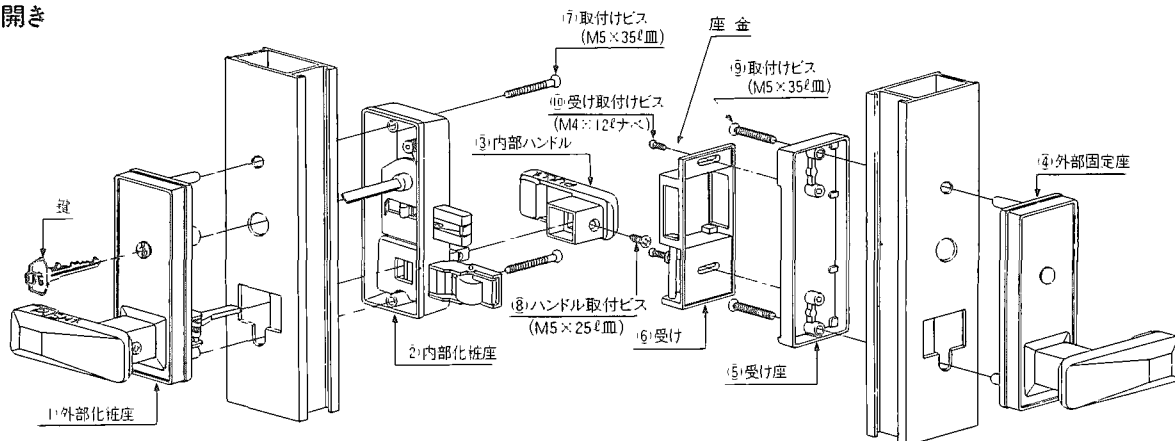


外部からは、ハンドルを
押して開けてください。

内部からは、ハンドルを
引いて開けてください。

施工順序

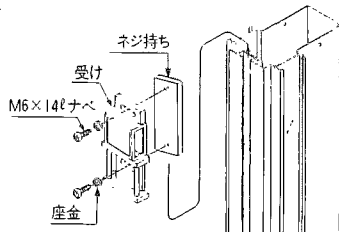
1 両開き



- 内部ハンドル③を、はずしてください。取付ビス⑧(M5×25ℓ皿)
- 外部化粧座①と内部化粧座②を門扉の両面にはさみ取付ビス⑦(M5×60ℓ皿)で取付けてから、内部ハンドルを差し込みハンドル取付ビス⑧(M5×25ℓ皿)で締め付けてください。
- 外部化粧座④と受け座⑤を門扉の両面にはさみ、取付ビス⑨(M5×35ℓ皿)で固定し、受け⑥をはめ込んで受け取付ビス⑩(M4×12ℓナベ)で取付けてください。
- ※ 受けの長孔を利用して錠の掛り具合を調整してください。

部分説明

A 片開き内掛受



(門柱用)

- 受けとネジ持ちを、取付ビス(M6×14ℓナベ)で仮止めし、ネジ持ちを門柱の溝へスライドし、錠の位置に合わせビスを締め付けてください。
- ※ 受けの長孔を利用して錠の掛り具合を調整してください。

(直付用)

- 錠の位置に合わせ、錠受アンカーを埋め込みアンカーへ取付ビス(M6×14ℓナベ)で取付けてください。
- ※ 錠受アンカーは、直付ヒンジセットに梱包してあります。
- ※ A形錠の部分説明A(112頁)を参照してください。但し、内掛受に使用する取付けビスはM6×14ℓナベです。

B ハンドル操作

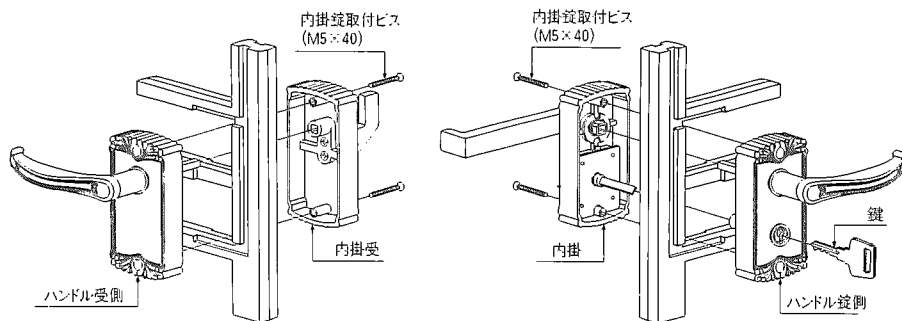
- P型錠(鋳物門扉用)の部分説明Bを参照してください。

錠金具

S・T型 鋳物門扉用

施工順序

1 両開き



内掛錠取付方法

- ハンドル錠側と内掛 } を、それぞれ
ハンドル受側と内掛受 } を、それぞれ
門扉の両面にはさみ、取付ビス(M5×40サラ)で取付けてください。
- ※ ハンドル受側と内掛受と内掛受は、落とし錠のつく門扉に取付けてください。